

東久留米の図書館を考える



発行者：東久留米の図書館を考える会

会報の発刊にあたって

「東久留米の図書館を考える会」は、2016年7月に中央図書館の指定管理者導入問題を市民の立場から考えるために発足しました。それからちょうど7年、改修された中央図書館の開館、指定管理者導入を挟み「市民にとってあるべき図書館の姿」を求め、学習集会活動、議会への請願・陳情、教育長や図書館長への要望書提出などの活動を行ってきました。現在は指定管理者以後の導入後の状況の検証を行うため、そのための情報公開請求及び審査請求を行っています。

私たちが求める図書館は市民の生活や活動に役立つ市の情報拠点として、様々な知識や情報を得られる場であるとともに、市民が集い、憩い、交流できる場としての「市民の図書館」です。そのためには税金を使って公共サービスを業者から購入するのではなく、十分な資料費と専門的な職員を雇用することによって市が直接運営することにより、市民の声を反映し、市民が様々な活動を通して参画ができることが必要です。図書館は行政と主権者としての市民が協力しあいながら作っていくものと考えます。

今後も東久留米市立図書館の発展のために、引き続き「考える会」の活動を行っていきたいと思います。皆様のご理解、ご協力とご参加をお待ちします。

小形亮（東久留米の図書館を考える会代表）

さる4月に行われた市議会議員の当選者の皆様に図書館についてのアンケートをお願いしました。全議員22名から回答をいただきましたので、了承を得てその回答を公開いたします。

アンケートの質問は次の4項目です。

Q①：日頃議員として、議会活動のために図書館を利用されていますか。

Q②：図書館専門職員の配置、育成について

現在、東久留米市立図書館には市役所職員として正規の専門職員（司書職）がいません。読書環境を充実させ、図書館行政を担うためには専門職員の存在は不可欠です。

次代を担う専門職員の採用、養成を行うべきだと思われませんが、どのようにお考えでしょうか。

また市では「図書館職員育成方針」を定めていますが、どのように評価されていますか。

Q③：図書館の指定管理者導入後の状況について

平成25年度に地区館へ指定管理者が導入され、令和3年度からは中央図書館も含めた全館に指定管理者が導入されています。結果、直営に比べ図書館費は大幅に増えてきていますが、当初目的とされていた経費の節減やサービスの向上などは実現できているとお考えでしょうか。制度導入後の状況をどのように評価されますか。

Q④：今後の東久留米の図書館には何が必要か

IT化が進む中で活字離れが指摘されています。さらに少子高齢化による社会の変化は図書館に対しても今までにない新たな必要性を生み出しています。このような中で今後の東久留米の図書館には何が必要でしょうか。お考えをお聞かせください。

（回答は原文のまま、会派名の五十音順で掲載します）

宮川豊史（久留米ハートネット）

- ① いいえ
- ② 正規職員の採用は不可能
その中で、サービスを充実させる為に指定管理者を導入
- ③ 大幅に増えたとは思っていない、サービスは維持されていると認識
- ④ 子ども図書館

阿部利恵子（公明党）

- ① インターネット等で最新の情報を検索することが多いためほとんど利用していません。
- ② 委託事業者は一定の割合で司書資格を有する職員を配置して下さっており、通常の図書館業務には特に支障はないと思われます。市が担う分野では、司書資格をもつ正規職員の配置も視野に、図書館職員育成方針を進めていけばいいのではないかと思います。
- ③ 指定管理者のノウハウも活かしながら開館日、開館時間の延伸を行うなど、市民サービスの拡充を図ることができたと考えます。委託したことで安定的に職員が確保でき、施設管理も含めての委託であることから特に問題はないと考えております。
- ④ 行政のデジタル化を推進している中、管理運営のシステム化や地域資料等のデジタル化等を進めていく必要もあるのではないかと思います。また図書館のとり組みや、イベント等の PR をさらに積極的に行い、幅広い年齢層の市民がふらっと立ち寄れる居場所としていければと思います。

澤田孝康（公明党）

- ① 月 1 回程度の利用です。
- ② 正規職員でなくても専門性の高い職員がいらっしゃれば大丈夫かと思えます。
- ③ サービスの拡充が図られていると感じています。
- ④ 書籍の電子化が必要になる（要望が多いのでは）かと思えます。

関根光浩（公明党）

- ① 特に議会活動のための利用はしていません。
- ② 育成方針に則り適切に育成が図られていると認識します。コロナ禍により様々な制約もあったと思いますが、今後の状況を見守りたいと思えます。
- ③ 民間のノウハウの活用によりサービスの向上は着実に図られていると認識します。様々な社会状況の変化があり、年度間の経費の比較のみで判断することは難しいと考えます。
- ④ 図書館 H.P の充実を期待します。

高橋和義（公明党）

- ① 利用していません
- ② 次代の専門職員の採用と養成については大事な点であると思えます。しかしながら採用するまでには課題も多く、まずはそこを整理してからと考えます。
- ③ 私の知人や家族からは以前よりも使いやすくなったと伺っています。サービスが低下したというご意見は私にはありません。
- ④ 私は、自分の子どもに図書館の本を読みきかせていました。小学校卒業までに 1 万冊を目標に取り組んでいました。子どもの本に特化した図書館があると良いと思えます。

三浦猛（公明党）

- ① 議員活動としては、大学の図書館を利用しております。
- ② 指定管理者制度の中では、必ずしも市職員としての司書職が必要とは考えていません。
- ③ これまで、不満の声もお聞きすることはありません。以前よりも学生の自主学習の場としての利用も増えている印象があり、良い環境づくりに取り組まれているとみております。
- ④ 今後もさらに情報収集が容易になったとしても、物理的な需要は一定残り続けると思っています。その上で、今後の図書館は、ただ本を借りたり、読んだりするだけでなく、あらゆるコミュニケーションを気軽に取れる場所とし、町の活性化にも役立つ施設となるべきと考えます。図書館といえばどこでも静かにしていなければならないイメージがありますが、以前視察した武雄市の図書館は違いました。カフェや書店、子ども図書館等を併設しており、明るく立ち寄りやすい

雰囲気でした。終日家族で楽しめる魅力的な空間づくりを目指してもらいたいと考えます。

岩崎さやこ（国民民主党）

- ① はい利用しています。
1階では、東久留米市の歴史について、第二次世界大戦時の被害が西東京市と比較しどのようなようであったか、また当時の食糧の提供(農家の野菜)の歴史を調べたことがあります。
2階のコーナーでは、男女共同参画について過去のアンケート調査を調べました。また湧水にまつわる東久留米市の取り組みについて資料を読みました。
2階の資料は市政を知るために有意義だと思います。男女共同参画についての市民アンケート調査について過去実施されたものを探して読みました。近年のアンケート項目と過去のものとは少し項目に違いがあることがわかりました。議員は図書館に行かずとも市役所でそのような資料を読むことができますが、市民の方がそのような資料にアクセスできるということは大変意義深いと思います。図書館に来なくてもネットで全て読むことができれば、市民の方以外の方も東久留米市について詳しく知ることができると思います。
- ② 図書館スタッフの方の給料が月12万と安く、司書資格を持つ人を雇うことができないと聞きました。全国の自治体ではサポーターを育成しているところがちらほら見られます。例えば北海道の幕別町では、図書館エディター「まぶさ(まくべつBOOKサポーター)」を養成し、図書館を拠点にして地域福利全般に関わる人材を養成しています。同じような取り組みが東久留米市でも実現できたらいいと考えています。
- ③ 実は私が中央図書館を利用するようになったのは、大規模改修後です。それ以前の状況を見たことがありません。現在、施設については清潔さ、明るさに満足が8割、資料の充実度が42パーセントが満足しているということを資料で知りました。私自身も同じような感覚でいます。
図書館法第2条には、図書館を定義する中でその目的を、教養、調査研究、レクリエーションとしています。この三本柱のうちの、調査研究については、図書館でも調べ学習をする意義があるようにしていきたいです。この点については、調べ学習のうち、インターネットを利用した方法以外にも、棚のレイアウト編集が重要だと考えています。
- ④ 私が必要だと思うことは、二つあります。一つは電子図書貸出サービスの導入。二つ目は、蔵書管理システムをカメレオンコードにすることです。一つ目に関しては、中央図書館の利用者が世代によって差があること、例えば60代は16.8パーセント、70代の方は20.6パーセントと多く、50代は3.7パーセントと一番低いので、もっと働く現役世代の方にも利用しやすい図書館が必要ではないかと考えています。通勤の時間などの隙間時間で本を読むには、やはり図書館から貸し出された無料のコンテンツがいいのではないのでしょうか。コンテンツ量により違うようですが、電子書籍の貸出サービスは、一年で100万円程度の費用からできると聞きました。
二つ目に関しては、カメレオンコード(LENコード)を導入し、蔵書点検の期間の短縮及び蔵書のレイアウト編集を自由にしたいと考えています。これからの図書館に求められる姿とは、デジタル化の流れと無縁ではないと思います。無料貸し本屋と化した公共図書館ではなく、気づきと発見、研究(特に理系の分野で)を目的とした情報編集センターとしての図書館こそが必要だと感じています。インターネットの普及により図書館の意義が変わってきていると感じています。

梶井琢太（市議会立憲民主）

- ① 議会活動としては、議会図書室や情報コーナー、市報や市ホームページ等、他自治体のものを含め活用することが多いように思います。あるいは、実際に地域の会合に足を運び、お話を伺い、資料等を頂いているのが実情です。
- ② 会計年度任用職員として図書館専門員の雇用や、図書館へのジョブローテーションについて人事部門と調整し、運営体制の構築に努めていると認識していますが、現状、これらに加え大学等で専門知識を持つ学生にアピールしたり、図書館在籍職員以外でも図書館に関する研修等を広く活用していくべきと考えます。
- ③ 必ずしも一概に経費(運営)の比較はできないが、市(公共)と民間の活力活用を両立させた取り組みとしては、(ここ数年コロナ禍により十分な活動が難しかったこともあり)今後の精力的な取り組みを期待します。市民の満足度も概ね高い水準にありますが、より一層の展開を要望したいと思います。
- ④ 子ども読書活動を始めとした、地域の様々な団体をつなぎ、読書を推進するイベントや周知等により、図書館の魅力をアピールすることはまず必要だし、学生や受験生などの居場所として環境整備を実施することがひとつ大事。また、ICTの活用、例えば電子図書館等も含み、この情報収集や研

究も必要、さらに、子育て支援としても有効な子ども図書館についても調査、検討をすべきと考えます。

島崎孝 自民クラブ共通回答・当麻一哉、野島武夫、篠宮宣典、沢西卓哉)

- ① 議員活動に必要な政策資料、統計資料の多くは政府機関等の HP に掲載されていること、また、地方自治の専門誌(例えば日経グローバル)が東久留米の図書館に蔵書されていないため、殆ど利用していません。また、専門書・参考文献等(例えば「再分配政策の政治経済学」(権丈善一)等)が蔵書に無い場合もあつたり、新刊書など蔵書に収蔵されるまで時間がかかる場合もあるので、必要な図書は自身で購入することが殆どです。
以上のことから、議員活動のために東久留米の図書館を利用することは、現状では殆どありません。
- ② 図書館の専門職員として司書職は重要だと考えます。司書職のキャリア形成に際して、その専門性を生かすためにも、司書職としてキャリアを積むことが重要だと考えます。安定した図書館運営やサービスを提供していくためには、図書館専門職としての司書資格を有する人材の確保が求められます。東久留米市規模の自治体では、直営で専門職の採用・養成には難しい状況があると私たちは考えています。指定管理を受託した専門事業者においては、まさに図書館の司書職としてキャリア形成を行うことができるので、適切だと考えます。
- ③ 指定管理者導入後の決算は令和 3 年度のみで、現在令和 4 年度決算が作成されるのを待っている状況です。コロナ禍およびロシアによるウクライナ侵略の影響で諸物価が世界的に変動していること、また、経費の変動は一定期間を経ないと適切な比較は難しいことから、単純な金額だけの比較は、もう少し期間が必要と考えます。
制度導入後の状況について、令和 3 年 12 月実施の利用者満足度調査の結果によれば、「資料、施設の満足度」については、清潔さ、明るさ、自動貸出機、館内検索機の使いやすさ、本の展示のテーマにおいて、90%以上の方が「満足」、「やや満足」とし、本の探しやすさ、資料の充実度においても、80%以上の方が「満足」、「やや満足」と回答されました。「スタッフのサービス」においても、予約対応の的確さ、ご案内などの的確さ、対応・接客態度など、全ての項目で90%以上の方が「満足」、「やや満足」という評価であったように、現状利用者から大変高い評価を頂いています。このように指定管理者制度の導入は一定の成果をあげていると考えます。
- ④ IT 化の進展で、スマートフォンやタブレットを利用する時間が劇的に増え、ニュースや時事的な課題について、多くの人にとっては寧ろ文字に触れる機会は増えていると思います。新聞・雑誌等の持っていた一般的・時事的な記述は、インターネットのニュースサイトや SNS 等にとって代わられています。質問の①で回答したように、現在の基礎自体の公共図書館の蔵書は、科学を始めとする各種学術の専門性に欠ける傾向があるかと思っています。基礎自体の公共図書館においては、今後、専門性を持った知の貯蔵庫(archive)としての役割が求められていくのではないかと思います。

鹿山玲子 (市民自治フォーラム)

- ① 5月から活動を始めたばかりのため、利用していません。今後利用したいと思います。
- ② 複数の司書職は必要と思います。加えて実務経験も必要と思います。直営で雇われ、経済的に安定して働ける司書が必要で。
- ③ サービスの向上について図書館の側から発信されたものがあまり見受けられず、回答する材料がありません。
直営に戻すことを望みます。
- ④ 大人も子どもも気楽に座って(いろいろな高さのソファなど)ゆったり本を読む環境があれば…と思います。IT,映像よりも本を読む方が想像力を養えます。本を読める環境、本を読むきっかけ作りの場となると良いと思います。

間宮美季 (市民自治フォーラム)

- ① あまり利用していません。
- ② 今後東久留米市として選書や除籍に対して責任を果たすためには、司書資格を有するだけでなく実務経験のある専門職員が必要であると考えます。そのためには「図書館職員育成方針」にあるように、少なくとも係長職には司書資格を有するか、業務に相応しい経験や能力を有する者を配置すべきと考えます。また異動があることを鑑み、図書館には複数の有資格の職員を配置し、1人も有資格職員がいなくなるという事態を避けるべきと考えます。また、最終的には市として正規の専門職を採用すべきと考えます。
- ③ 2022年12月議会で図書館長が述べているとおり、指定管理者を導入したことによる財政的なメリ

ットはなかったと考えます。そもそも無料の原則のある図書館で民間に委ねたからといって経費の削減を実現するとするなら、人件費を削る他なく、現実的ではないと考えます。また導入後の図書館サービスについては、事業計画や実績報告が公表されていないため評価のしようがありません。指定管理者に対し、主権者である市民に積極的に情報を公開するよう市が求めるべきと考えます。

- ④ 活字離れが進む昨今だからこそ、特に子どもたちが本に親しめる環境作りが重要であると考えます。学校図書館への支援体制の充実が望まれます。また地域に根ざした図書館として地域資料や行政資料等の充実も必要です。そして何よりアーキビストを市として育て、図書館が知の拠点としての役割を果たすことができるようにすべきと考えます。

細谷祥子（都民ファーストの会）

- ① 図書館は、必要に応じて様々な館を利用しております。
② から④については、現状についての精査をしっかりとした上でないと、無責任にお答えすることはできません。今後の動向を含め、注視してまいります。

鴨志田芳美（日本共産党）

- ① していません。
A. 空間利用…限られたスペースのため、時間や時期によっては使いたい方が使えなくなってしまう可能性、パソコンを使うため、周りに迷惑になる場合があることと充電が必要なため。
B. 本、資料の利用…購入することがメインになりました。
② 採用、養成すべきと考えます。特に養成については簡単ではないと思います。私自身が社会人となって職種を変えて、働きながら資格・免許を取得しました。司書資格の取得等に対して意欲的になるための改善、取得を決意し取得するまでの過程での改善が必要と考えます。その意味で言えば、”図書館職員育成方針”は不十分であると思います。
③ 市民の方からはイベントで呼ぶ講師の方や、難しいリクエスト本をそろえていただいたなど評価する声が寄せられています。しかし、継続的に質が保てるのか？心配であるとのことご意見もいただいています。「経費を削減する」という考え方を図書館行政に持ち込んではいけない、つまり指定管理者制度は図書館行政になじまないと考えます。
④ 私は 2021 年 11 月 29 日に初めて図書館行政の質問をしています。ティーンズ世代にとって図書館が居場所の一つになることを願い、取り組みを質問しました。（ここでは省略させていただきます）
他市で言えば武蔵野プレイス等の施設面での工夫、市内で言えば、中央図書館の子どもたちが声を出してグループワークできるスペースの確保といったティーンズ世代へのアプローチと、子どもから高齢者までが安心して利用できる場にしていくことが必要だと考えます。例えば、BGMを流すエリアを作ってみる等、様々な声を聞く取り組みも必要だと思います。

北村龍太（日本共産党）

- ① あまり利用していません。
② 図書館は誰でも無料で知識を得ることができる公共の場であり、専門的な職員の存在は必要不可欠です。正規の専門職として採用、養成を行うべきとの考えに賛成です。図書館職員育成方針のもと、司書資格を持つ正規職員を増やしていくべきと考えます。
③ ②でも書いた通り、図書館は誰でも利用できる公共の場であり、指定管理者導入による経費削減といった考えにはなじまないと考えます。図書館の指定管理事業者は寡占が進んでおり、サービスの向上ができるか疑問です。指定管理を見直し、直営に戻すべきです。
④ 私自身も最近あまり図書館を利用せず、活字離れしている状況です。IT化、少子高齢化は今後も進むであろうことから、こうした流れはある程度仕方がないのではないかと思います。新たなことを取り込むことも必要ですが、図書館の持っている本来の役割を守り後退させないこと、直営のまま誰にでも開かれた図書館であることが必要と考えます。

永田雅子（日本共産党）

- ① 毎議会ではありませんが、利用しています。
② 図書館は、単に書籍を貸し出すための施設ではないと考えます。利用者の求める図書についてアドバイス、また選書、除籍、地域資料の収集など専門性が求められています。そのために専門職の配置は必要不可欠です。育成方針に反映させるべきと考えます。

- ③ 私は現在も指定管理者制度導入に反対です。経費削減の考え方がそもそも図書館行政にはなじまないと考えます。導入されている下であっても必要経費は投入すべきと考えます。図書館および職員に求められる蓄積性について、定着率の低さが課題の一つと考えます。
- ④ IT化を否定はしませんが、活字離れ（特に若い世代）につながらないような取り組みにどのようなものがあるのかと考えます。明確に答えられずすみません。高齢の方の中には、読みたくても文字が小さいため読書から離れてしまう方もいらっしゃいます。CD（音読）がもっと増えればとの声をいただいています。

村山順次郎（日本共産党）

- ① 柳泉園組合議員として活動しておりました際、同組合の焼却炉であるクリーンポートに水銀が混入した事例について質問するため、中央図書館2階のレファレンスカウンターで水銀の物性および類似施設における同様の事例とその対応策について調査いただいたことがあります。
- ② 図書館運営には本来指定管理者制度はなじまないと考えています。現在でも中央図書館の運営の一部を直営にて担っていることを考えれば、司書資格を持つ市職員を増やし、かつ同方針に従って研修などを実施していくべきと考えます。
- ③ 指定管理者制度を中央図書館に導入する際の事業者を公募したところ、応募した事業者は現在その運営を担っている事業者のみでした。経費の縮減の効果もなく、東久留米の市立図書館運営を脆弱にしていると思います。
- ④ インターネット経由で入手できる情報は無料の範囲であれば限界があります。スキルアップのための学習や人生を豊かにする文学など、フリーアクセスの図書館がはたす役割は、なんら損なわれるものではないと考えます。ひきつづき利用者を増やす取り組みとともに、市民の声に基づいた市立図書館となるよう改善が必要です。

引間太一（ニューウエーブ）

- ① 時々利用しております。
- ② 育成は必要だと思います。インターンを受け入れ、活用したり、資格を有する専門職員の採用は必要です。方針は評価しています。
- ③ 職員の人件費が確かに増えているが、制度的な問題もあると考える。コロナの状況もあった為、単純に比較は出来ないかと。新しい図書館作りを市と協力して進めている最中で今後の変化を注視。
- ④ メタバース仮想空間を活用したメタバース図書館、市民の皆様から意見をいただいて作る図書館。

佐藤一郎（東久留米維新の会）

- ① 議会活動のために図書館を利用することはほぼありませんが、個人的に読書が好きなので小説などはよく借ります。議会活動には議会図書室を利用します。
- ② 必ずしも正規の司書職を図書館におこななければならないとは考えていません。「図書館職員育成方針」は他市にない画期的な方針だと考えます。この方針に沿って職員の育成をすすめていただきたいと考えます。
- ③ 図書館費の増は、様々な臨時的な支出の増や光熱水費の増などによる管理費の増、また人件費も当時から増となっており、多くの要因があると考えます。直営を続けていても図書館費は大幅に増えていたと思います。サービスの向上は私が利用している感覚では間違いなく実現できていると考えます。
- ④ これからは他市でも行われているように電子図書館の導入の可能性を探るべきと考えています。まだまだ利用できるコンテンツが少ないですが、今後はさらに増加が見込まれます。準備をすすめるべきと考えます。

編集後記：

会報第1号は、私たちが選出した議員の方々に図書館に係る問題についてのアンケートをお願いし、その回答を特集しました。市民の皆さんに市立図書館の実状を知っていただくことを目標に、会報名が示すとおり、今後も東久留米の図書館を考えるための話題や課題を不定期の発行になりますが提供していきます。

連絡先：東久留米の図書館を考える会
ogataryou730@gmail.com (小形)

